

八丈島 水産だより



1月号

2020年



ひき縄漁船



南原千畳敷

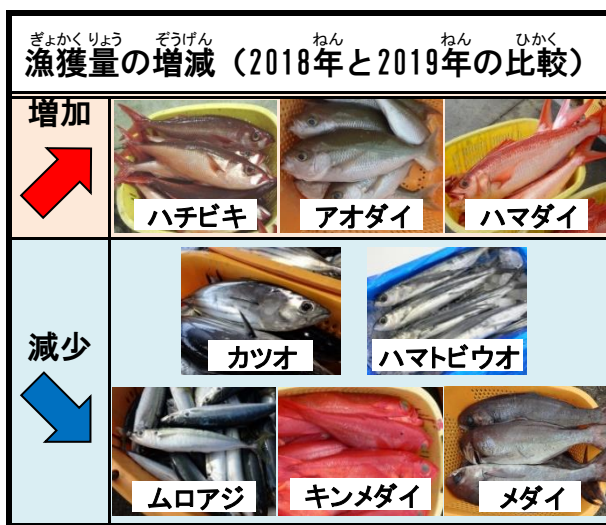
あけましておめでとうございます

2020年が始まりました。八丈島水産だよりでは今年も水産業にまつわる様々な話題を提供していきます。どうぞよろしくお願ひします。

さて、今年の干支は「子」ですが、干支の「子」の文字には「子孫繁栄」の意味があります。海の魚たちの子孫も繁栄して、八丈島が豊かな水産資源に恵まれるといいですね。

■ 昨年の漁模様

昨年は、八丈島の水産物を代表するカツオ、ハマトビウオ、ムロアジ、キンメダイ、メダイなどの漁獲量は、2018年よりも漁獲量が少なかったです。一方で、ハチビキ、ハマダイ、アオダイの漁獲量は増加しました。海は常に変化しているため、獲れる魚も海況や年によって変わります。漁業や、水産物を扱う水産加工業ではこうした変化に臨機応変に対応していくことが求められます。



■ 八丈島漁協女性部は2020年も頑張ります！



八丈島漁協女性部おさかな研究会の皆さん

八丈島漁協女性部おさかな研究会は、今年も島内外の方々に、島でとれたムロアジやトビウオなどおいしい魚をお届けします。また、八丈島の自然や暮らし、島でとれる魚について知ってもらうため、出前授業も実施していきます。毎日忙しい日々が続きますが、皆さんに「八丈島の魚はおいしい！」と喜んでもらえるよう頑張っていきます。

今年の産業祭は1月25日、26日に開催されます！